

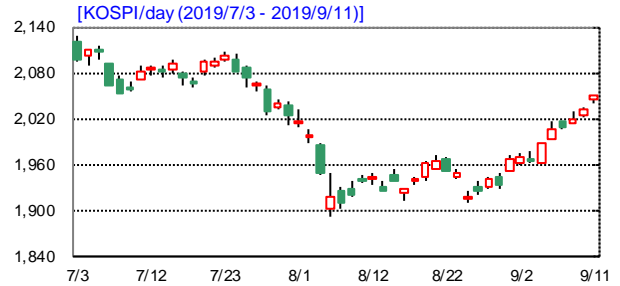


## 【韓国】 総合指数は 2.0%高と 4 週続伸、終値で 2 カ月半ぶり高値を更新

### 先週の動き／今週の展望

韓国総合指数は週間で 2.0%高と 4 週続伸。先週は 12-13 日が休場となり 3 日間の取引だった。11 日まで 6 日続伸となり、11 日は 7 月 26 日以来ほぼ 2 カ月半ぶりの高値で引けている。米中貿易協議の進展期待から米株式市場でダウ平均が上昇し、投資家が運用リスクを取りやすくなった。11 日に発表された 8 月の韓国の失業率は 6 年ぶりの低さで、買い安心感につながった。今週は買い優勢の相場展開か。トランプ米大統領が 10 月 1 日に予定していた中国製品に対する追加関税の延期を発表した上、貿易交渉での「暫定合意」を検討すると表明したことで、好地合いが続きそうだ。17-18 日に開かれる米 FOMC と、会合後のパウエル FRB 議長の記者会見が重要イベント。世界的な金融緩和の流れの中、利下げ幅が注目される。

▼指数チャート

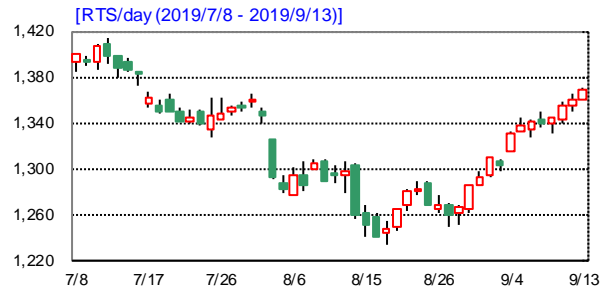


## 【ロシア】 RTS 指数は 2.1%高と 4 週続伸、今週は原油相場上昇が株価の支援に

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.1%高と 4 週続伸。米中通商協議の進展への期待や追加景気対策の観測、ルーブル高などが好感され、指数は約 2 カ月ぶりの高値を更新した。週明け 9 日は横ばいでスタートしたが、10 日から 13 日まで 4 日続伸。配当性向の引き上げを発表したズベルバンクが買われ、金融株の上昇をけん引した。原油価格の下落はネガティブ視されたものの、米中貿易摩擦の改善期待や、追加景気対策観測、ECB の金融緩和策を受けてルーブルやロシア国債が上昇したことも株価の支援となった。個別では電力のインターラオ UES、エネルギーのスルフトネフテガスが 2 桁高となったほか、ズベルバンク優先株も 2.3%高となり、指数を押し上げた。今週はサウジアラビアの石油関連施設破壊による原油高が支援となるか。

▼指数チャート



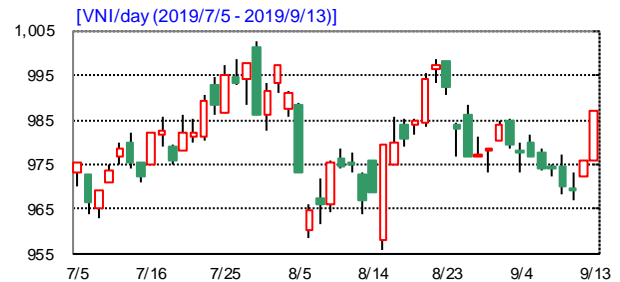
## 【ベトナム】 ベトナム指数は 1.3%高と 3 週ぶりに反発、今週も利下げ好感の流れ

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.3%高と 3 週ぶりに反発。ECB の金融緩和策やベトナム国家銀行（中央銀行）の利下げが好感され、週後半に上昇した。米中関係改善の見通しを受けて中国からの企業移転の促進期待が後退し、週半ばまで軟調に推移したが、12 日に ECB 理事会が金融緩和策を決めて新興国市場への資金流入期待が広がり、13 日にベトナム国家銀行が主要政策金利を 0.25%ポイント引き下げ、ベトナム経済の回復期待も高まった。指数は 11 日に約 1 カ月ぶりの安値まで下落したものの、12-13 日に続伸し、3 週ぶりの高値水準で終了。金融株はベトナム銀行が週間で 6.0%高となり、史上最高値を更新したほか、ベトナム投資開発銀行が 4.9%高で 1 年 5 カ月ぶりの高値を更新した。今週は利下げを好感した流れが続くか。

▼指数チャート



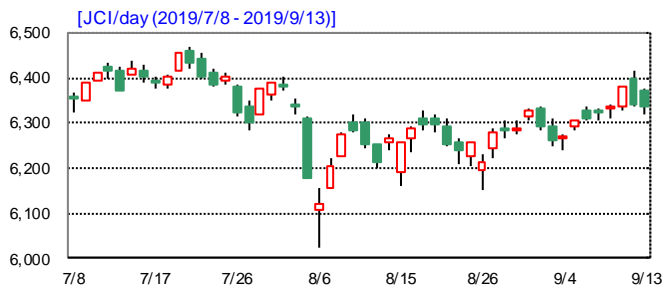


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.4%高、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.4%高と反発。週前半の上昇が指数を支えた。週初の 9 日は、前週末の NY ダウが 3 日続伸した流れを引き継ぎ、4 営業日続伸。10 日は 7 月の小売売上高が前年同月比 2.4%増と 1.8%減だった前月からプラスに転じた効果で買われた。11 日も買い優勢の展開が続いたが、12 日はテレコムカシ・インドネシアが指数下落を主導し 7 営業ぶりに反落すると、13 日も続落して取引を終えている。今週は 16 日の 8 月の貿易統計発表に続き、19 日には中央銀行が定例会合を開催する予定。政策金利は前月まで 2 会合連続で引き下げられたが、今回は 5.50%に据え置かれるとの見方が優勢。

### ▼指数チャート

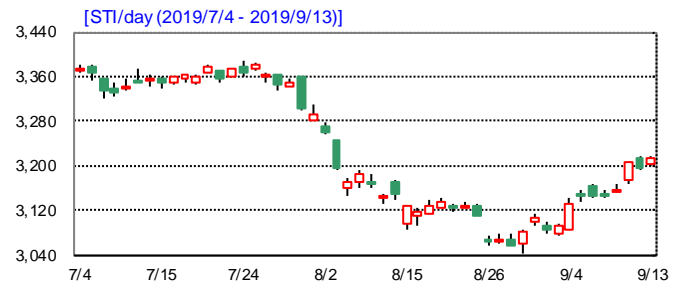


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.1%高、住宅開発庁の優遇策発表を好感**

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.1%高と続伸。不動産株が指数上昇をけん引した。週前半は小幅な値動きで推移したが、11 日は住宅開発庁 (HDB) が物件購入に関する優遇策を発表した効果で不動産株と金融株が買われ、指数は終値ベースで前日比 1.5%高と 3 日続伸。12 日は 7 月の小売売上高が前年同月比 1.8%減と 6 カ月連続の前年割れだった影響に加え、利益確定売りも出て反落したが、13 日は米中の緊張緩和に対する期待感と欧州中央銀行 (ECB) の量的緩和再開が買い材料となり、6 週間ぶりの高値を更新して取引を終えている。今週は 17 日発表の 8 月の非石油地場輸出に対する市場の反応が焦点。

### ▼指数チャート

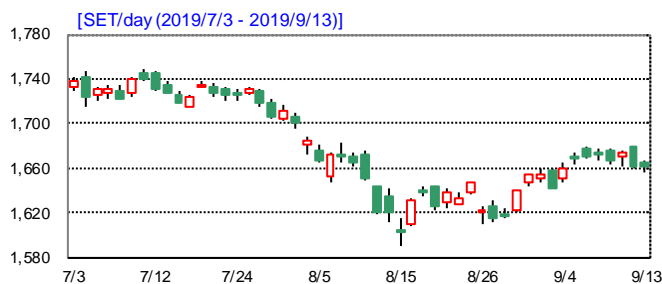


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.5%安、今週は 20 日に 8 月の貿易統計 (通関ベース) 発表**

SET 指数は週間で 0.5%安と 4 週ぶりに反落。国内の重要イベントが少ない中、一進一退を繰り返した 1 週間だった。週初の 9 日は小幅ながら 4 営業日続伸したが、10 日は中国の 8 月の生産者物価指数 (PPI) が前年同月比 0.8%減と 2 カ月連続で前年の水準を下回った影響で反落。一方、11 日は中国が米国に対する 16 品目の追加関税を免除したことが好感されて反発した。ただ、勢いは続かず 12 日には再び反落している。今週は 20 日に 8 月の貿易統計 (通関ベース) が発表される予定で、輸出額が前月に続き 2 カ月連続で前年の水準を上回れば好材料。外部要因では、17-18 日に開催される米 FOMC が焦点になる。

### ▼指数チャート

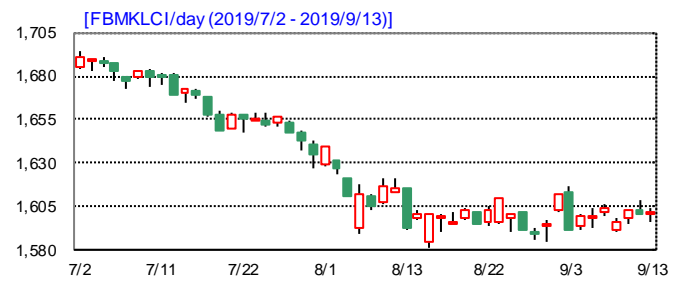


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.2%安、通信 2 社の合併計画が頓挫**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.2%安と続落。週半ば以降はほぼ横ばいで推移した。連休明けの 10 日は、合併計画が中止となった通信のアシアタ・グループとデジ・ドット・コムが売られ、指数は反落。一方、11 日は 7 月の鉱工業生産が前年同月比 1.2%増と 3 年 7 カ月ぶりの低い伸びにとどまったが、逆に金融緩和への期待が高まり、反発した。12 日は中央銀行が政策金利を 3.0%に据え置いた失望感から小幅に反落すると、13 日は前日からほぼ横ばいで引けている。今週は国内の経済イベントが少ない中、貿易問題に関する米中歩み寄りの動きが加速すれば好材料。16 日はマレーシアの日のため休場。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。